湯沢砂防事務所 記者発表資料		記者発表 資料配付日時	平成２３年１１月２５日 １０時００分

「大源太川第１号砂防堰堤」が土木遺産に認定されました。

大源太川第１号砂防堰堤が、直轄砂防事業として日本で最初期に完成したアーチ式砂防堰堤で、堰堤表面の石積みとアーチ造が織りなす景観が評価され、土木学会選奨土木遺産に認定されました。

土木学会選奨土木遺産とは

・土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木構造物の保存に資する事を目的として、(社) 土木学会で平成１２年に認定制度が設立されています。

大源太川第１号砂防堰堤　概要

昭和１０年９月の「魚沼大水害」を契機に昭和１４年に完成した日本で最初期のアーチ式砂防堰堤です。高さ１８メートル、長さ３３メートルで築造後７０年以上の歳月を経た現在でも大源太川における砂防の要として、下流の安全を守る機能を果たしています。

詳細は、土木学会関東支部新潟会HPよりご覧いただけます。

http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/sabo/shisetsu/taigentacanyon/2gaiyou/gaiyou_top.htm

認定伝達式の様子

土木遺産　銘板

土木遺産　認定書

【問い合わせ先】　国土交通省 北陸地方整備局
湯沢砂防事務所　025-784-2263 (代表)
副所長　川村　修蔵
調査課長　渡邉　正一